

経営体の概要

- ・所在地: 愛知県岡崎市
- ・経営体名: 河内孝紀氏
- ・栽培作物: ナス
- ・作付面積: 24a(技術導入面積は12a)
- ・労働力: 家族3名(令和元年8月現在)

導入技術

- ・あぐりログ((株)IT工房Z製)
- ・プロファイnder((株)誠和製)
- ・施設内の温度、湿度、CO₂濃度等をモニタリング。
- ・あぐりログのモニタリングデータは、クラウドに蓄積され、産地グループ内及び普及指導員、JA職員ともスマホやPCで共有し活用。



産地グループで導入が進むあぐりログ



温室内で、普及指導員(左)とタブレットで施設内環境を確認する河内氏(右)

導入経緯

先進産地におけるCO₂施用による増収技術に関して持っていたところ、平成26年度に、JAあいち経済連からプロファイnderとCO₂施用装置の導入と調査ほ設置の依頼を受けた。

平成28年度には、安価でいつでもどこでもモニタリングできるシステムとして、あぐりログを導入した。

取組の特徴・効果

- 調査対象農家含む7人が、愛知県事業「あいち型植物工場推進事業」の活用によるあぐりログの導入に合わせて、ICTを活用した産地研究グループを組織化している。
- 栽培期間中、月に1回程度開催される産地研究会へ参加し、産地グループ員間でモニタリングデータや生育データ等を比較検討し、栽培管理の改善に努める。
- 栽培管理の改善に向けてモニタリング項目も年々拡充し、温度、湿度、CO₂濃度に加えて、現在は日射量や土壌環境(pF値)も計測している。
- 技術改善を積み重ねることによって、技術を導入した平成26年度作の単収約19t/10aが、平成30年度作約24t/10a(126%)に増収した。
- 今後は、目標収量25t/10aに向けたさらなる技術改善と、増収に伴う雇用労力の確保を検討する。